

『社会学研究』第69号(2001年6月20日刊)

論説

- ・「第二次大戦期におけるダニエル・ベルの戦時体制分析」(清水晋作)
- ・「ダールの民主主義観 黒人問題・「一九六四年公民権法」制定過程への言及を手がかりとして」(上田耕介)
- ・「マックス・ヴェーバーの価値自由論における他者「理解」と「批判」の意義」(相沢出)
- ・「J・ハーバマスにおける合理性の問題」(菅原真枝)
- ・「市民活動団体と行政との協働関係の構築 仙台市市民活動支援施策の形成過程」(本郷正武)
- ・「ボランティア・グループにおけるコーディネート機能 組織論的アプローチから」(李妍エン)
- ・「社会運動イベントデータ作成の方法と課題」(渡辺勉・山本英弘)
- ・「庄内地方における営農志向の現況と農村社会 酒田市生産組合長に対する第三次「営農志向調査」から」(徳川直人・相沢出・劉章旗)

研究ノート

- ・「憲法訴訟運動参加者のライフ・ヒストリーに見る思想と行動 フィールド・ワークによる市民運動の思想史にむけて」(西尾広毅)